

活用事例を紹介するシリーズ第11回目は「QRコード活用による資機材工程管理」と「スリーブ情報を電子黒板へ反映（SPIDERPLUS連携）」です。



標準活用事例（カラー版）は協会ホームページ内「BIM実装社会に向けての提言」（赤枠PDF）からもご覧頂けます。

BIM施工標準活用事例シート

No. 21

01 施工

02 施工

03 発注

04 工程

05 現場作業

06 品質

07 検

08 試運

09 試運

10 その他

スリーブ情報を電子黒板へ反映（SPIDERPLUS連携）

- ・スリーブ情報を現場管理アプリと連携し、平面図上へピン（スリーブ位置）を自動配置
- ・施工写真に必要な情報も電子工事黒板に反映・帳票作成まで連携



【対応ソフト】●主利用 ○対応可能

対応ソフト	Revit	Rebro	●	T-fas	○
目的	スリーブ情報をアプリ(SPIDERPLUS)連携し、施工記録・書類作成を効率化				
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・準備作業（アプリ側でのピン打/工事黒板の情報入力）の省力化 ・Rebro側で入力したスリーブ情報を工事黒板 → Excel写真帳まで反映が可能 ・ピン（管理番号）と紐づいた管理が可能となり、写真整理（仕分）が不要 				
建築用途・規模	研究施設、研修施設等複合施設 約23,500㎡				
前工程への課題・要望	現場（監理者・ゼネコン）毎に工事黒板に必要な情報や記載方法が異なり、手間が発生 ⇒スリーブ工事に関する工事黒板の記載内容/写真帳書式の統一				
施工側の課題	アプリ側に連携できない項目は、追加入力（手打ち）での対応となり、手間が発生 ⇒工事黒板の記載内容について監理者/監督員に確認・調整しておく				
工夫点・活用ツール	施工記録に必要な情報は、スリーブ属性（Rebroのカスタムプロパティ）に入力				
備考	SPIDERPLUS連携は、レンタル版のRebroの場合、オプション契約が必要				

日空衛 BIM推進委員会